

いしのみまきし 農業委員会だより

第8号
平成30年
12月1日発行

10/17

桃生地区

親子ふれあい稲刈り体験



主な内容

- P2 地域の話① 8年ぶりの稲刈り
- P3 地域の話② 河北農産加工グループ
- P4 農業委員会の活動
- P5 農業者の活動レポート
- P6 新規就農
- P7 農業者年金
- P8 農業委員会からのお知らせ



地域の話題 ①

被災直後の様子

農地の復興

大谷川工区 8年ぶりの 稲刈り



整備されたため池



整備された圃場(奥が鮫浦湾)



(※資料提供：宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部)

今年の田植えの様子



8年ぶりの稲刈り



石巻市牡鹿地区は東日本大震災で水田が全滅しました。宮城県が農山漁村地域復興基盤総合整備事業「牡鹿地区」を申請し、谷川・大谷川工区 総面積22.5ヘクタールを整備することで復興庁に認められました。平成25年度に着手し、昨年は一足先に谷川工区が約4ヘクタールに作付けすることができ、平成32年度には全ての事業が完了する予定です。

大谷川工区の農地は中間管理機構を通じて、すべて農事組合法人「おしか」が借り受けることになり、今年の5月28日に作付けを行いました。復興事業として防鹿柵も設置されたため、シカによる食害もなくなり、10月13日には被災から8年ぶりの稲刈りとなりました。法人の関係者は「初めての作付けにしては収量もよかった」と安心している様子でした。

(担当：今野委員)

大谷川地区

牡鹿半島

田代島

網地島

金華山

●●● 地域の話 ② ●●●

河北農産加工グループ「白瓜会」 原料の野菜は30年間ほぼ自給・・・



会員は60～80代の3名。会長の三浦和江さん、山内文子さん、佐々木文子さんが忙しく「奈良漬」の袋詰め作業をしている中、お邪魔しました。

昭和50年代後半、JAの声掛けもあり、山内文子さんが先進地視察などで研鑽を積み、得意としていた加工技術指導を行い、「かほく金婚漬」を看板商品として販売しました。平成元年に『白瓜会』を発足させ、平成2年には加工室も完成しました。その後、JA等の指導で、大手スーパーやデパートなどでも販売を始めました。平成17年に道の駅「上品の郷」が完成し、常時販売ができるようになった

ときは本当に嬉しく、励みになりました。と当時を振り返って話してくれました。

主な商品は、発足から作り続けている「かほく金婚漬」「かほく奈良漬」、味噌漬、それに季節の即席漬など多数。原材料は会員の自家菜園の採りたて野菜。無添加なので安心、安全な加工品ばかりです。

「30年の間には失敗も多数ありました。でも平成21年にはみんなでハワイ旅行をしました。自分たちへのご褒美です。楽しい楽しい思い出です。体力が続く限り、畑を荒らさず、原料の野菜を作ります。これが元気の源ですから。『白瓜会』これからも頑張りますよ。」と白い割烹着姿で微笑んでいました。

(担当：色川委員)



白瓜会の「奈良漬」で

奈良漬で炊き込みご飯 粕は付いたままで(4人分)

米	2合
奈良漬	100g
人参	50g
油揚げ	1/2枚
白ごま	

作り方

- ①米は洗って30分水に浸す。
- ②奈良漬は粕をつけたまま1cm角に切る。
- ③人参、油揚げも1cm角に切る。
- ④釜に2合の水を入れ、奈良漬、人参、油揚げを米の上ののせて炊く。
- ⑤器に盛り付け、白ごまを振って頂く。

旬の冬野菜で作るちょこっと一品

レンジで簡単！ 人参の明太子和え(4人分)

人参	1本 (300g)
辛子明太子 (たらこ)	50g
醤油・みりん各	小さじ1
胡麻油	大さじ1

作り方

- ①人参は5cm位の長さに切り、千切りか、ピーラーでむく。
- ②耐熱皿に並べ、胡麻油、醤油、みりんを振りかけ、ラップをふんわりかけ600Wのレンジで2分加熱。取り出してラップをはずし、明太子をほぐして良く混ぜる。
- ③再びラップをふんわりかけて、好みの柔らかさまでレンジで加熱する。
- ④ラップを外し、良く混ぜて盛り付ける。

農業委員会の活動

8/30
木

平成30年度研修会



他に中間管理機構と委員の連携の大切さを具体的なデータで見ることができました。今後は、今回の研修で学んだことを生かしつつ、農地を守るために、何をすべきかを考えながら活動していきたいと思えます。

(担当：佐藤(健)委員)

8月30日、遊楽館かなんホールで行われた「平成30年度市町村農業委員・農地利用最適化推進委員研修会」に参加しました。他地区の事例発表の中で「10年後の農地は誰が作るのか」「守るべき農地とは何なのか」を考えながら活動しているとの報告がありました。また、「次世代の担い手を育てる」活動の状況を聞き、大変勉強になりました。



女性委員の活動

8/21
火

県北地域 女性農業委員・農地利用最適化推進委員 地区別懇談会 開催される

8月21日、県北の女性農業委員、農地利用最適化推進委員が集う「みやぎアグリレディス21」の懇談会が美里町で開催され、当委員会から3名出席しました。

各地区から、家族経営協定や農業者年金加入の推進、農業体験を通じた農村文化の伝承、食育活動など、地域の特色を活かした女性委員ならではの活動の様子が生き活きと報告されました。

また、女性農業委員、農地利用最適化推進委員の増員についても活発な意見交換があり、今後の地域活動に参考となる有意義な会でした。30代の委員からの「移住して農業を始めて3年、自分の考えで経営できる農業は楽しい」との言葉に、女性委員から共感の拍手が沸きました。

農業従事者の半数が女性となった現在、女性の視点で、地域農業のこと、農地のこと、税のこと等をあなたも一緒に考えてみませんか。

(担当：色川委員)



私たちも参加しました。 ～農業者の活動レポート～

田植えから稲刈りまで 子どもたちに伝えたい

毎年恒例となっている稲作体験が春の田植え、秋の稲刈りと、大勢の子供達の歓声が挙がる中、今年も開催されました。小川のせせらぎに足を浸たし、田んぼのいきものと触れ合い、青空の下、楽しいひとときを過ごした後は、桃生地区JA女性部そして、地域の方々の郷土色溢れるご馳走をいただきました。



このような、食と農との体験で、未来を担う子供達が、農業に対する理解を深め、その大切さに気付いてほしいものと思います。

今後は様々なジャンルの方々にも参加を呼び掛け食育活動の輪を広げられたらいいですね。

(担当：大森委員)

全国担い手サミットinやまがた

11月8、9日と農業委員会と関わりの深い石巻市認定農業者連絡協議会の一員として、「全国担い手サミットinやまがた大会」に参加しました。8日は山形国際交流プラザにて、皇太子殿下ご臨席のもと、2,100人の担い手が集まり、パネルディスカッションや担い手メッセージ、表彰式などの全体会を行いました。9日は庄内地方の「米どころ庄内の歴史と大規模集落営農を巡るコース」を選び視察してきました。



始めに「おしん」のロケ現場として有名な山居倉庫を訪ねました。全農山形が所有している昔の米蔵で、立派な建物がずらりと並び、10,800トンの米が保管されています。「米どころ庄内」の名に納得しました。次に酒田の「農事組合法人ファーム北平田」(組合員100名)を見学しました。3年目の若い法人で、水稻・大豆・ねぎ・えだまめ・トマトなど450ヘクタールもの面積



を手掛けており、その規模の大きさに驚き、また担い手育成の大切さを痛感しました。今回の参加は、山形県の農業担い手のパワーを感じ、刺激を受けるいい機会となりました。来年度は静岡県開催予定です。

このような活動をしている石巻市認定農業者連絡協議会ではやる気のある認定農業者の入会を募っております。興味のある方は農業委員会事務局にお問い合わせください。

(担当：佐藤(健)委員)

新たに農業を始めようとお考えの方へ

当委員会では、農業に新規参入を考えている方に対して、

農業経営の
ご相談

農地の
取得手続きや
斡旋

生産技術の
指導など

をアドバイスしています。

また、農業だけではなく、地域に入ることの不安もできるだけ解消したいと思い活動しています。今回は、農業を始めるに当たって一番不安となる「収入」の面から、サポート事業の一部をご紹介します。

新規就農支援事業

すぐに農業経営を始めるので、補助金を活用したい。

農地・機械の取得や生活費などに補助金を活用することができます。

経営開始型

(農業次世代人材投資事業)

個人への支援

- ・年間最大150万円
- ・最長5年間
- ・独立就農までに45歳未満

法人に就職し、給料をもらいながら研修したい。

法人から給料がでます。補助として、研修の費用が法人に入ります。

農の雇用

受け入れ側への支援

- ・年間最大120万円
- ・最長2年間
- ・就農時45歳未満

法人で研修させてもらいたい。

給料はもらえませんが、生活費などに補助金を活用することができます。

準備型

(農業次世代人材投資事業)

個人への支援

- ・年間最大150万円
- ・最長2年間
- ・就農までに45歳未満

☆JAいしのまき独自の農業振興支援対策事業☆

(上記支援対策と併用可能)

1. 就農準備支援 (在学中の学校を卒業後1年以内にJA管内での就農に60万円)
2. 後継者・新規就農者支援対策 (受け入れ側に最長1年/月10万円)
3. 露地野菜生産拡大支援 (種苗・肥料等の初期経費1/3を支援)
育苗施設有効活用支援 (種苗・肥料等の初期経費1/3を支援)
4. 大型農機等導入支援 (農業機械・ハウス等の事業費の5%以内を支援)
※詳しい支援内容と対象者資格は各JA窓口にてご確認ください。

プラス

※新規就農をお考えの場合などは、まず地域の農地利用最適化推進委員・農業委員にお尋ねください。

(担当：後藤委員)



農業者の皆さん、 老後の備えに農業者年金に 加入しませんか？



農業者年金へは、

次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。



農業者年金の特徴

- 積立て方式で安心
- 保険料は全額社会保険料控除
- 農業の担い手には保険料補助
- 加入・脱退も自由
- 保険料はいつでも変更できる
- 終身年金80歳までの死亡一時金あり

掛け始めた頃は、65歳といえどもお年寄りの世界とっておりましたが、今現役80歳の方々が周囲に多くおられ、この歳になってもまだまだ「洩垂れ小僧」。老齡者という名も憚られるようではあります。そこはそれ、元気で頑張れる活力源として有効に年金を活用していきたいと考えています。

農業者年金は農業者に喜ばれ役立つ年金として、特に平均寿命の長い女性の方にとっては不可欠な年金です。農地を持たなくても、年間60日以上農業に従事し、国民年金に加入している60歳未満の方なら誰でも加入できる、自分の老後のために自分で積み立てる自分年金といわれています。

昨年より農業者年金老齡年金を受給しています。旧制度の脱退一時金を受領して止めた方が多かった中で、母が経営移讓年金を受給していたこともあり、年金にも理解がありましたので、新制度月二万円の掛け金を米通帳から引き落とし、旧制度と合わせて何とか四十年間掛け通せました。税務申告の際には社会保険料控除の恩恵がありましたので随分と助かりました。



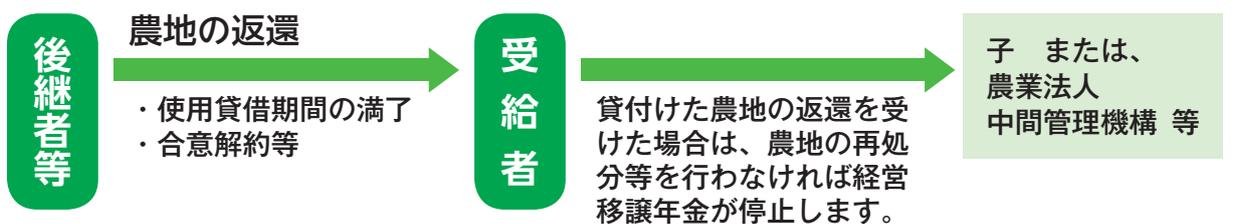
石巻市和剌
門間 康明さん

受給者の声

経営移讓年金を受給されている皆さんへ

経営移讓とは・・・

後継者等に農地を処分(贈与、売却又は貸付け等)して、農業経営から引退することです。



また、転用・売却・買収などのため、解約する予定のある方は、事前に農業委員会にご相談ください。

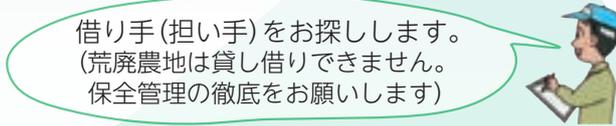
農業委員会からのお知らせ

農業委員会の主な仕事は

① 農地の利用推進



田畑の耕作が大変！
誰かお願いしたい。

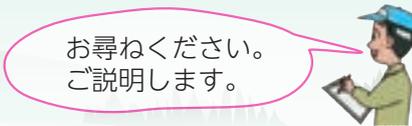


借り手(担い手)をお探しします。
(荒廃農地は貸し借りできません。
保安全管理の徹底をお願いします)

② 農地の貸借・売買などの許可



許可が必要なのはわかっているけど、
手続きの仕方がわからない。



お尋ねください。
ご説明します。

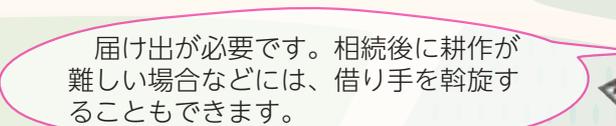
③ 農地転用の許認可

転用は許可できる場所かどうかなど、手続きに入る前に事前の調査が必要です。
地番・所有者・現在の耕作状況などをお知らせください。

④ 農地に関する各種手続きのご案内



農地を相続したけど・・・



届け出が必要です。相続後に耕作が
難しい場合などには、借り手を斡旋す
ることもできます。

⑤ 農業者年金、税務申告の相談

などです。

⇒農地に関するあれこれは、お気軽にご相談ください。

総会等日程表

年月	受付期間		現地調査 (3条)	委員会		総会	公告日
	開始日	締切日		農家相談	農地調査		
12月	4日(火)	10日(月)	12日(水)	17日(月)	18日(火)	26日(水)	28日(金)
31年 1月	4日(金)	10日(木)	15日(火)	18日(金)	21日(月)	29日(火)	31日(木)
2月	4日(月)	7日(木)	12日(火)	14日(木)	15日(金)	26日(火)	28日(木)
3月	4日(月)	8日(金)	12日(火)	14日(木)	15日(金)	25日(月)	27日(水)

※利用権設定の終期をむかえる方々に、更新通知をお送りしています。

編集後記

いしのまきし農業委員
会だより第8号の発行と
なりました。

年二回発行する運びと
なり、制度改正後の委員
会活動を、地域の皆さま
への情報の発信に心がけ
て、より身近な農業委員
会を目指して編集にあ
たってまいりました。

今後、当委員会へのご
意見・ご要望にお応えで
きるよう、一層頑張っ
て参りますので、よろしく
お願い申し上げます。

編集長・伏見 晃也

編集委員

委員長 伏見 晃也
副委員長 佐藤 克美
委員 佐藤 健悦
大森 香織
後藤 嘉伸
今野 勝夫
遠藤 章一
色川 恭子
遠藤 邦雄
大橋 和祥

